

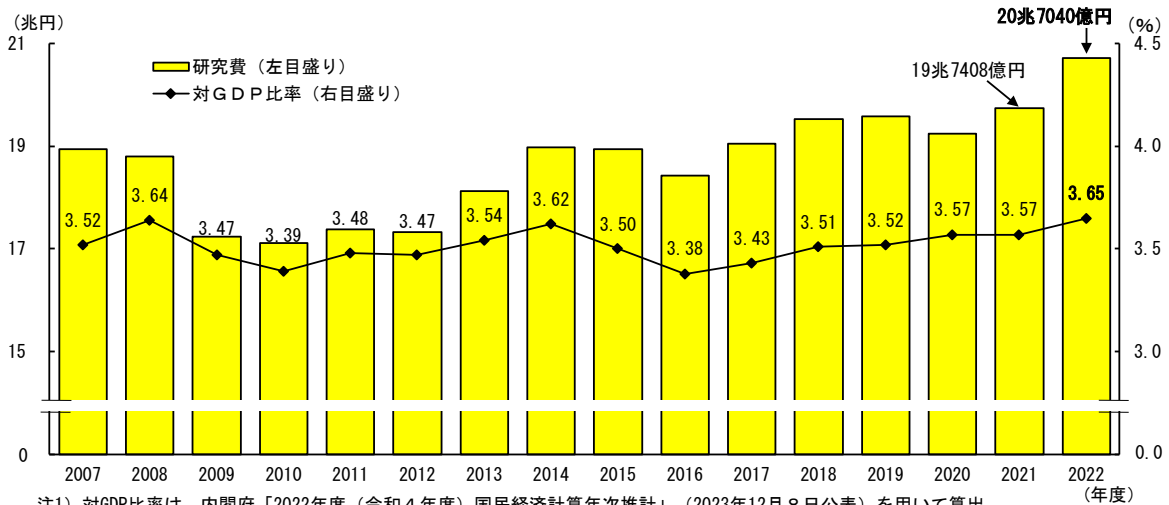
2023年（令和5年）科学技術研究調査結果

総務省統計局では、我が国における科学技術に関する研究活動の状態を調査し、科学技術振興に必要な基礎資料を得ることを目的として、科学技術研究調査を毎年実施しています。
この度、本年6月1日に実施した調査の結果を取りまとめましたので、公表します。

科学技術研究費の動向

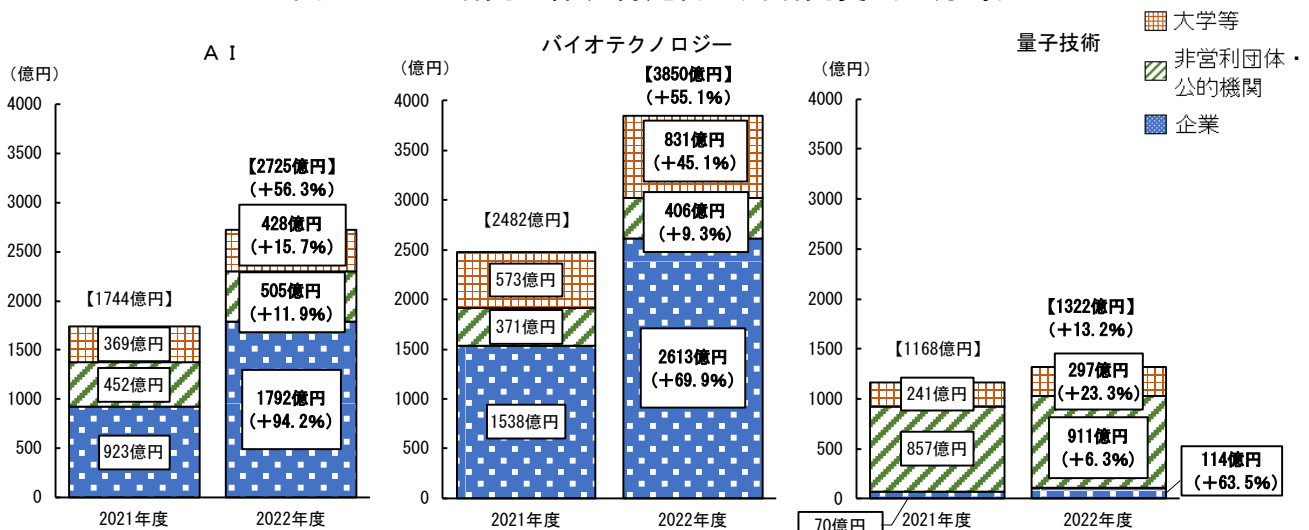
- 2022年度の科学技術研究費の総額は、20兆7040億円（対前年度比4.9%増）で、2年連続で増加し、過去最高
- 国内総生産（GDP）に対する研究費の比率は、3.65%と前年度に比べ0.09ポイント上昇
- 政府が戦略的に取り組むべき基盤技術として位置付けられている特定目的3分野に使用した2022年度の研究費は、AIに2725億円（対前年度比56.3%増）、バイオテクノロジーに3850億円（同55.1%増）、量子技術に1322億円（同13.2%増）で、前年度と比較するとAIとバイオテクノロジーの増加が大きい

図1-1 研究費及び対GDP比率の推移



注1) 対GDP比率は、内閣府「2022年度（令和4年度）国民経済計算年次推計」（2023年12月8日公表）を用いて算出
注2) 単位未満を含む数値で計算を行っているため、表章数値による計算とは一致しない場合がある。以下同様

図1-2 研究主体、特定目的別研究費（3分野）



注1) 【 】内は各分野の年度別の研究費
注2) ()内は各分野の研究主体別研究費の対前年度比

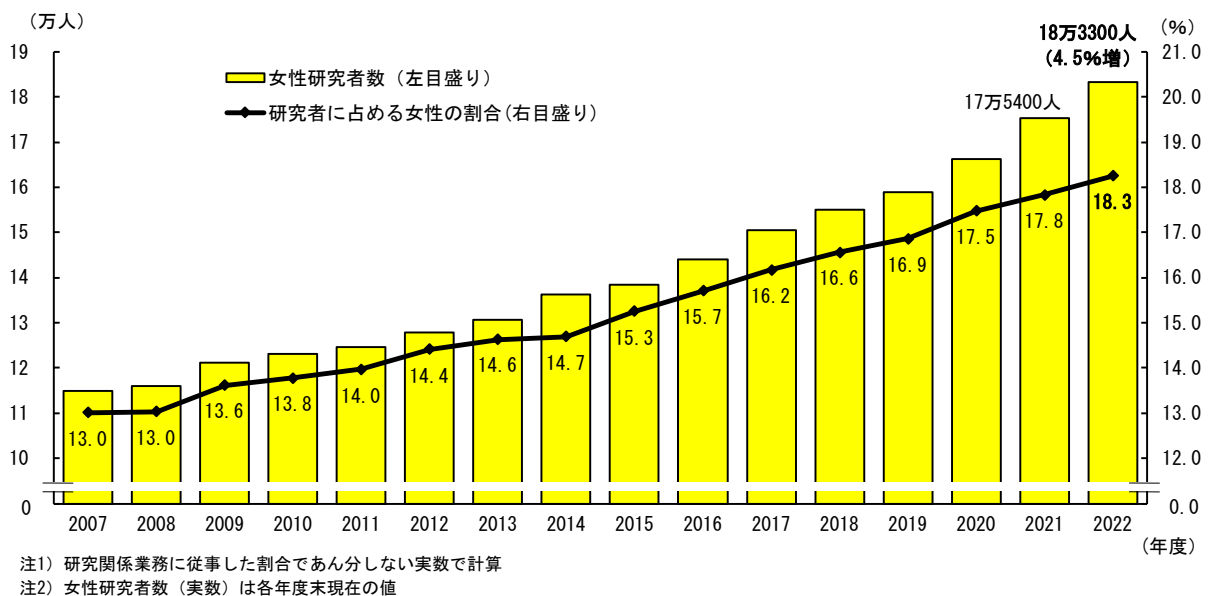
研究者数の動向

- 2023年3月31日現在の研究者数は、91万400人(対前年度比0.2%増)で、7年連続で増加し、過去最多
- 研究者1人当たりの研究費は、2274万円(対前年度比4.6%増)で、2年連続の増加
- 女性研究者数(実数)は、18万3300人(対前年度比4.5%増)で過去最多、研究者全体に占める割合は18.3%(前年度に比べ0.4ポイント上昇)と過去最高

図2-1 研究者数及び研究者一人当たりの研究費の推移



図2-2 女性研究者数(実数)及び女性の割合の推移



<問合せ先>



総務省統計局

統計調査部経済統計課科学技術研究調査係

担当：吉田課長補佐、丸井係長

電話：03(5273)1169(直通)

e-mail：e-kagaku@soumu.go.jp